

文部科学省、総務省、経済産業省が実施する

「未来の学びプログラミング教育推進月間」にドコモがプログラミングロボットで協力

～全国小学校の「総合的な学習の時間」を支援～

株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）は、文部科学省、総務省、経済産業省が実施する「未来の学び プログラミング教育推進月間」に協力し、3省が設立した未来の学びコンソーシアム[※]と連携して「ロボットと人間が共に過ごす未来社会について考える」授業実施案を提供します。

■ロボットと人間が共に過ごす未来社会について考える授業実施

ドコモは未来の学びコンソーシアムと連携し、小学校におけるプログラミング教育の指導案を作成し、授業を支援します。

この授業案ではプログラミング教育用ロボット「e-Craftシリーズ embot[®]（以下、embot）」を活用します。

実施する授業の内容は、「embot」の組み立て、プログラミングによる操作を通じてロボットプログラミングの基礎を学び、自ら発掘した社会課題をドコモの第5世代移動通信方式（5G）の活用によるソリューションを参考にプログラミングを用いて解決する内容を予定しています。



<embotイメージ>



<embotを活用した授業イメージ(左:ロボットを組み立てるイメージ、右:プログラミング操作のイメージ)>

未来の学びコンソーシアムが2019年2月18日(月)から全国の小学校の募集を開始することに伴い、ドコモでも希望いただいた小学校での授業実施を検討しています。

今後ドコモは「embot」を通じて、小学校プログラミング教育の充実・普及促進に貢献してまいります。

※ 未来の学びコンソーシアム(<https://miraino-manabi.jp/consortium>)

文部科学省、総務省、経済産業省が、プログラミング教育の普及・促進のため、教育・IT関連の企業・ベンチャーなどとともに、2017年3月に設立した官民協働のコンソーシアムです。

* 「embot」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先
株式会社NTTドコモ R&D イノベーション本部 イノベーション統括部 事業創出・投資担当 TEL: 03-5156-3653

e-Craftシリーズ「embot」概要

「embot」はドコモの新規事業創出プログラムである「39works」から生まれた、プログラミング教育用ロボットです。「embot」はダンボールと電子機器を用いてロボットを組み立てることで、電子工作やものづくりの基礎を学ぶことができます。また組み立てたロボットは、タブレットやスマートフォンにインストールしたビジュアル・プログラミング※¹の専用アプリを用いて、子どもでも簡単に操作することができます。特にフローチャート形式でプログラムを組むことができるため、if文やfor文など、より高度なプログラミング要素も直感的に身に付けることが可能です。

「embot」は、パートナー企業である株式会社イーフローにて製造、販売しております。

■「embot」の公式サイト

<https://www.embot.jp>

■販売価格

4800円／台(税抜)※²

<「embot」組み立てイメージ>



組み立て用ダンボールと機器がお手元にとどきます。



ダンボールなので、簡単にロボット工作が可能です。



自分だけのオリジナルにデザインして、世界に1つだけのロボットをつくらう！



スマートフォンやタブレットからの直感的なプログラミングで、実践的なプログラミングが身につきます。



自分専用のロボットを好きなように動かして遊ぼう！

※¹ ビジュアル・プログラミングとは、プログラムを絵や図形を組み合わせて作成する方法です。

※² 別途送料が必要になります。